

〈めざす子どもの姿〉

3つの宝をもって丸子中央小学校を卒業できる子ども

- 1) 自立した自分
興味・関心のあることに取り組み、学習したことを活用できる子ども
- 2) 協働できる仲間
互いのよさや違いを認め合い考えを交流しながら、心や体を働かせて友だちと共に学ぶ子ども
- 3) ふるさと丸子
地域の文化や人を知り、未来に向かって地域を大切にできる子ども

学校教育目標

ひたむきに やさしく かしこく

〈上田市教育大綱〉

「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

子どもたちの将来の礎となる「豊かな心と生きる力」を育みます
〈人づくり〉
・課題を解決する力、自立する力を育みます ・人の痛みがわかる、思いやりの心を育みます ・物事に取り組む意欲や探求心を育みます ・自分の考えや気持ちを伝える表現力を育みます ・グローバルな視野とふるさとを愛する心を育みます ・夢や希望を持って未来をたくましく切り拓く心を育みます

〈保護者・地域の願い〉

・友だちや先生と仲良く生活し、楽しく学校へ通ってほしい
・勉強したことを身につけ、確かな学力を高めてほしい
・友だち、先生、地域の方に自分から元気にあいさつしてほしい
・一人ひとりの子どもに寄り添った指導支援をしてほしい
・丸子地域の自然、歴史、文化、産業などを学び、ふるさとのよさを知ってほしい

【本年度の重点目標】

お互いの違いを認め合い、安心して思いや考えを伝え合える子ども

〔学力向上〕

自分の考えを伝えたり深めたりしながら進んで学習しよう

- 学習への興味や疑問を大事にして、進んで調べたり考えたりしよう
- 自分の考えたことを発表し、仲間の考えを大切に聞こう
- 学習の約束とマナーを身につけ、真剣に授業をつくろう

- ・授業中に考えを書き、声にし、必然性のある対話学習の推進
- ・算数での小中連携授業
- ・信州型UDの研究と実践
- ・ICTを活用し魅力ある授業づくり
- ・学校や地域(ふるさと丸子)を素材にした探究的な学びの充実「えがおプロジェクト」
- ・全学級ができる「5つのやくそく」「はっきり話す・よく聴く」
- ・読み上げドリルなど、学力定着の機会の確保

〔人権教育〕

自分の思いや考えと違うひと・こと・ものを認めあおう

- だれとでも心のこもったあいさつをしよう
- だれもが違った思いや考えがあることを知り認めよう
- 嫌なことがあっても、心と命を大切にした言動をしよう
- 一人ひとりの特性に配慮したチーム支援

- ・あいさつを返そう、自分から進んでしよう(おはよう、ありがとう)
- ・多様性に気付き認め合う道徳の実践や日々の生活
- ・歌や音楽をとおして心を開こう
- ・人権教育、安全防災教育の充実と徹底
- ・特別支援教育の充実

〔強い意志・体力向上〕

全校、学年、学級で決まったことをみんなで取り組もう

- 学校生活のルールやマナーの意味を理解し一人ひとりが守ろう
- 児童会活動にすすんで参加しよう
- わくわくマラソン・体みがきを続けよう
- 規則正しく健康的な家庭生活を過ごそう(食事と睡眠、家庭学習、メディアコントロール)

- ・だれもが気持ちよく生活するために、自分がすべきことを実行する
- ・当番活動等への参加、全ての委員会の取組への協力と参加
- ・わくわくマラソンや体みがきを継続して心身を鍛える
- ・「つむぐ」を活用し睡眠、メディアとのつきあい、家庭学習など、子どもの心身の健康について、保護者と考え実践する

【めざす教職員集団:まず教職員から始めよう】

- ・子ども一人ひとりのよさと違いをみつめ、自ら自立し可能性を伸ばせるよう、寄り添い共に歩む。
- ・20年後を生きる子どもを想像し「おぼえること」「考えること」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識する。
- ・各自の強みを生かし「チーム中央小」として支え合い、情報共有を心掛け、明るく朗らかに行動する。
- ・保護者、地域の願いや思いを受け止め、共に子どもを育てようとする。
- ・教育公務員としての誇りを忘れず、常に見通しをもって計画的に行動し、自主的にワークライフバランスを大切にす。

〔地域と共に(信州型コミュニティスクール)〕

- ・学校運営委員会(学校評議員、地域代表、ボランティア代表、PTA代表)による学校運営へのアドバイスと支援、外部評価
- ・地域の方と共にある学校(学校支援ボランティアの募集、支援体制の充実)
- ・地域の方に学ぶ丸子地域の自然、歴史、文化、産業

〔保護者、家庭と共に(PTA活動に関わって)〕

- ・まずは、大人から笑顔であいさつ。子どもがあいさつを返したら、笑顔を返そう。
- ・大人も子どももメディアとつきあう時間を決めて守ろう。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを知り、実行しよう。
- ・「つむぐ」を活用し、家庭学習の習慣が身につくように、子どもに寄り添う。